



## 「心のアンケート」～楽しい学校生活を送るために～の実施

先日の新聞報道で、平成29年度、全国では約41万4000件(平成28年度比9万1000件以上増加)のいじめが把握され過去最多となっています。県内では、2,409件(平成28年度222件減少)のいじめが発生し、依然として子どもたちの身近なところでいじめが起きています。本校でもすでに解消しているものの数件発生しています。

現在、本校の子どもたちにおいては、「学校が楽しくない、いじめられるから」という理由で学校を休んだり、登校を渋る子どもはいますが、心の中に不安を抱いて登校したり、学校生活の中でいやな思いをしているという児童がいることは事実です。

「いじめは、決して許されないことであり、また、どの子どもにも、どの学校でも起こりうるもの」であり、「時として命に関わる重大な問題」であるという認識に立ち、明日16日「心のアンケート」を全校一斉に実施します。このアンケートを実施することにより、いじめの実態を把握するとともに、迅速・適切な対応を行い、いじめのない、すべての児童が安心して、楽しく学校生活を過ごせる学校づくりに取り組みたいと考えています。アンケート内容といじめの定義については以下の通りです。

### 【心のアンケートの質問内容例】

- ・学校は楽しいですか？・みんなで何かをするのは楽しいですか？・授業はよくわかりますか？
- ・自信があるものや自慢できるものがありますか？・学級の良いと思うところやいやだと思うことを書いてください(記述)・いじめられたことはありますか？・いじめを見たことがありますか？など

### 【いじめの定義】いじめ防止対策推進法(下線、太字は筆者)

児童生徒等に対して当該児童生徒等が在籍している学校に在籍する等当該児童生徒等と一定の人的関係にある他の児童生徒等が行う心理的または物理的な影響を与える行為(インターネットを通して行われるものを含む)であって当該行為の対象となった児童生徒等が心身の苦痛を感じているもの

11月1日から人権月間がスタートし、各学級ではクラスのテーマ作成や人権学習に取り組んでいます。私も全校集会で、人権月間の目標として自分を大切にし、まわりの人も大切にすること、差別やいじめをゆるさない心と行動の大切さと、「ええところ」という絵本の読み聞かせを通して、人のよさに気づき自分が変わることができるためには、自分の内面を見つめ自分のよさに気づく働きかけが大切であるということを伝えました。

私たちはこの機会に、自らの人権感覚やこれまでの人権教育を振り返りながら、次のような支援・指導に心がけていきます。

- 日頃から、子どもたちとのコミュニケーションを密にし、信頼関係を構築する。
- 支持的な学級、居場所となる学級を目指した授業づくり・集団づくりを目指す。
- 日頃気にかかっている児童と話したり、必要に応じてその家庭を訪問したり、周りの子どもたちとの関わりの様子を観察したりする。
- 一人一人の子どもが元気づき、学習したことが日常生活に生かされる授業づくりに心がける。

\*裏面の「子どものサイン発見チェックリスト」(保護者用)をお子さんとともに確認していただき、当てはまる項目があれば、ぜひご相談ください。(相談窓口:担任、生徒指導担当、養護教諭)

